

新町小学校だより

～かしこく ころろゆたかに

たくましく 生きる新町の子～

第8号

令和3年9月3日

津市立新町小学校

Tel 059-228-5125

コロナ禍だからこそ**変わった自分**がいる！

～二学期スタートにあたって～

今はコロナのまん延で、今まで普通にできていたことに沢山の制限がありました。多くの人がまだ色々な思いや辛い時間を過ごしていると思います。そんな中で、新たな取り組みから、私は今まで気づかなかったことに気づくことができ、ものの捉え方を違う角度から見ることや自分の状態を整えて過ごすことなど、コロナ禍だからこそ変わった自分がいることも実感しています。

子どもたちは柔軟な考え方ができると思うので、大変な中でできる楽しいこと、違った方法での取り組みを体験して、この時期に工夫して過ごしたことが大人になってから活きると思います。(中略)

左の文章は、少し前に本校のある保護者の方からいただいた手紙の一部です。この手紙を励みに、コロナ禍の中、一学期は運動会や遠足、水泳指導など、試行錯誤しながら工夫を重ねて取り組みを進めてきました。でも、緊急事態宣言中の二学期からは、感染拡大が収まるまでしばらく静かに様子を見なければなりません。

先日始業式の話では、感染予防の他に次のような話をしました。

「二学期は、いつも以上に相手の気持ちを考えるようにしましょう。もし自分がコロナに感染したら、もし自分が友だちにイヤなことを言われたら、もし自分が学校に行けなくなったら、どんな気持ちになるかを、心の中で想像してみてください。

今日から、学校に行きたいけど、みんなと会いたいけど、コロナが心配で来ていないお友だちがいます。その気持ち、分かりますよね。気をつけなくちゃいけないのは「コロナ」です。友だちではありません。コロナなんかには負けない、思いやりのある優しいクラスに、新町小学校のみんななら出来ますよね。」

本校の教育目標は「かしこく、心豊かに、たくましく生きる新町の子」です。かしこく生きるとは「学んだことを人生や社会に生かす」、心豊かに生きるとは「まわりの人たちとともに生きる」、たくましく生きるとは「どんな状況にも対応できる」としています。これら私たちが目標とする姿は、正にコロナ禍の中で今の子どもたちに求められる姿です。

「コロナ禍だからこそ変わった」と子どもたちが思えるように、この時代の経験がこれから歩む子どもたちの人生において必ず生きてくると信じて、明日からも職員一丸となって取り組みを進めていきたいと思います。

二学期も引き続き、今まで以上のご理解とご協力をよろしくお願い致します。

校長 松本 幸也

各教室でCO2濃度チェック



間隔を空けて登校



教室に入る前に手洗い・消毒



検温チェックの徹底

